（各課様式１）

予　算　要　求　資　料

令和６年度当初予算　　　　　　支出科目　款：総務費　項：企画開発費　目：企画調査費

事 業 名 岐阜県高等学校総合文化祭開催費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）
岐阜県環境生活部県民文化局　文化伝承課　教育文化係　電話番号：058-272-1111(内3143)
E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

１ 事 業 費　　　　1,320 千円　（前年度予算額：　　　0 千円）

＜財源内訳＞

区　分	事業費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財　産 収　入	寄附金	その他	県　債	一　般 財　源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,320	0	0	0	0	0	0	0	1,320
決定額	1,320	0	0	0	0	0	0	0	1,320

２ 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

・県内高校生の文化活動の成果を発表する場の提供と将来の県民文化の一層の発展ための基盤づくりへの支援。
・参加生徒相互の啓発と連盟全体の技量向上、生徒たちの文化部活動への意欲向上や肯定的な態度の育成、高等学校文化部活動の充実と振興への貢献。

（２）事業内容

岐阜県高等学校文化連盟に負担金（1,320千円）を交付。

（３）県負担・補助率の考え方

本事業は岐阜県高等学校文化連盟との共催事業であり、県負担は妥当。

（４）類似事業の有無

なし。

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料		
工事請負費		
補助金		
その他	1,320	岐阜県高等学校文化連盟に負担金として交付。
合計	1,320	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

教育ビジョンにおいて、「スポーツ・文化等の分野で個性を伸ばす教育の推進」が目標として掲載。

（２）国・他県の状況

令和5年度に都道府県高等学校総合文化祭に係る補助事業（単独）を実施しているのは、33都府県であり、その平均は2,464千円。また、他項目をまたぐ予算を計上しているのは6都道府県あり、その平均は3,172千円。なお、支出都道府県の平均は、2,573千円。

近隣県の状況

県名	予算額（単位：千円）	事業名
富山	5,560	（未記載）
石川	2,400	高等学校文化祭費補助金
長野	5,394	長野県高等学校文化・芸術フェスティバル
静岡	2,700	静岡県高等学校総合文化祭開催事業
愛知	3,177	児童生徒ふれあい文化活動推進事業
三重	959	みえ高文祭
滋賀	1,100	滋賀県高等学校総合文化祭
全国平均	2,464	

令和５年度全国高文連基本調査（令和５年８月現在）より

事　業　評　価　調　書（県単独補助金除く）

□	新規要求事業
■	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
・観客の人数の増大（令和６年度までに観客数４０，０００人）。
・各部会の裾野の拡大（令和６年度までに参加生徒数７，０００人）。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前（R ）	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	終期目標（R6）	達成率
① 参加生徒数		3,456	4,114	4,670	※ 7,000	
② 観客数		2,563	3,704	7,062	※ 40,000	

※全国総文を含む

〇指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・岐阜県高等学校総合文化祭の開催 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、総合開会式及び演劇、マーチングバンド・バトントワリング、吟詠剣詩舞、文芸、地域研究、小倉百人一首かるたの各部会の発表会及び展覧会が中止となった。その他の部門は新型コロナウイルスへの感染対策がしっかりとなされた上で、各地の文化施設にて開催した。
	指標① 目標：7,000人 実績：3,456人 達成率： 49.4 ％
令和3年度	・岐阜県高等学校総合文化祭の開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総合開会式及び文芸部門の交流会、地域研究部門の発表会が中止となった。しかし吹奏楽部門はDVD収録、写真部門は会期の後半をWeb配信にするなど、工夫を凝らして実施した。その他の部門は感染症対策を講じたうえで各文化施設にて開催し、成果をあげた。
	指標① 目標：7,000人 実績：4,114人 達成率： 58.8 ％
令和4年度	・岐阜県高等学校総合文化祭の開催 　総合開会式をはじめ、全部門が県内各地の文化施設で発表会・展覧会を開催し、成果をあげた。参加生徒数、観客数ともに増加しており、活動を再開させ、拡大していることが確認された。令和５年のプレ大会、令和６年の全国高等学校総合文化祭開催への機運を向上させ、雰囲気を醸成することができた。
	指標① 目標：7,000人 実績：4,670人 達成率： 66.7 ％

２ 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） ３：増加している ２：横ばい １：減少している ０：ほとんどない	
（評価） ３	将来の県民文化の一層の発展のためには、高校生が活動の成果を発表する場の確保が必須。総合開会式、各部会の発表会、展覧会の維持さらには拡大に大きな意義があり、県が支援するのは妥当。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ３：期待以上の成果あり ２：期待どおりの成果あり １：期待どおりの成果が得られていない ０：ほとんど成果が得られていない	
（評価） ３	令和６年度の全国高等学校総合文化祭の開催を控え、県民の関心は高まっている。自県開催の成果を活かし、次世代につなげていくために、引き続き成果を発表する場の確保は必須であり、今後も県の支援は有効。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ２：上がっている １：横ばい ０：下がっている	
（評価） ２	担当課による各部会の発表会等の視察、県高文連からの事業報告書の提出を受け、県高文連と意見交換を行い、毎年の改善を実施。

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
・総合開会式、各専門部会大会の県内広域での実施。
・広報活動のさらなる工夫。
・令和６年度開催の第４８回全国高等学校総合文化祭の成果を活かした大会運営。

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

高等学校文化部活動のさらなる充実と振興、将来の県民文化の一層の発展、第４８回全国高等学校総合文化祭の成果を次世代への継承のために重要であり、継続すべき。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	